

糖尿病を合併した成人発症 周期性嘔吐症候群の1例

もり 俊 明¹⁾ ふじ 井 康 善²⁾

キーワード：周期性嘔吐症候群，糖尿病，ミトコンドリア遺伝子，
ミトコンドリア糖尿病

要 旨

症例は46歳の女性。片頭痛と妊娠糖尿病の既往がある。母に糖尿病，息子に難聴がある。主訴は反復性嘔吐。半年前から月に1-2回の頻度で嘔吐発作が反復するようになった。この間に体重は10 kg減少し，原因が不明のため当院に入院となった。血液検査では空腹時高血糖を認めた。種々の検査にて嘔吐の原因になるような器質的病変は認めず，神経性食欲不振症も否定的であった。入院中に2回の嘔吐発作を認めたが，発作期にACTH，コルチゾール，ADH，カテコラミンの上昇と間欠期にそれらの正常化を認めた。以上の所見より周期性嘔吐症候群と診断した。治療として3環系抗うつ薬の投与を行い，症状の軽減と2 kgの体重増加を認めた。糖尿病についてミトコンドリア遺伝子異常を疑い，3242 (A→G)点変異を検査したが異常を認めなかった。周期性嘔吐症候群の原因としてミトコンドリア遺伝子異常の関与が指摘されている。成人例では，糖尿病との合併が高頻度であることから，今後，共通の原因としてミトコンドリア遺伝子異常を検索する必要があると考える。

はじめに

周期性嘔吐症候群 (cyclic vomiting syndrome: 以下 CVS) は反復性嘔吐発作を特徴とし，学童に好発する疾患である。周期性 ACTH-ADH 放出異常症，アセトン血性嘔吐症と同一病

態を示し，2004年に発表された国際頭痛分類第2版で片頭痛の一型に分類されている。今回我々は，糖尿病を合併した CVS の成人発症例を経験し，共通の原因としてミトコンドリア遺伝子異常について検討，考察したため報告する。

症 例

【症例】46歳，女性。

【既往歴】20歳代より片頭痛，42歳の時，妊娠糖

Toshiaki MORI et al.

1) 島根県済生会江津総合病院内科 2) 同 消化器科
連絡先：〒695-8505 江津市江津町1016-37